

問一 次の語句を行書で書きなさい。

前略 拝啓 快気祝
宮崎 令和 御中元

問二 次の文章を、漢字は行書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

たちまち、一匹の虎が草の茂みから道の上に躍り出たのを彼等は見た。虎は、既に白く光を失った月を仰いで、二声三声咆哮したかと思うと、また、元の叢に躍り入って、再びその姿を見なかった。

(中島敦「山月記」より)

問三 次の葉書文を、紙面構成を考えて、楷書または行書で、調和よく書きなさい。

(宛先 氏名)
八八〇一〇〇五六
宮崎市神宮東二丁目三番地の二 長友裕 子様

(差出人住所・氏名)

八八九一二五三三
日南市大字屋倉一二四 小村 寿子

問四 次の『顔氏家廟碑』の一部を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書※しなさい。

※臨書：古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと

黄門侍郎待詔

(黄門侍郎待詔)

問五 次の平仮名、片仮名の字源(平仮名、片仮名のできるもとの漢字)を、楷書で書きなさい。

あきのそら
ヨ ア ケ マ エ